

各校のスキルアップセミナー担当者が、具体的な講習内容や日程などのご要望をお聞きし、ニーズに応じて講習内容を提案させていただきオーダー形式のコースです。メニュー型コースの日時や内容などをご要望に沿ってカスタマイズすることも可能です。

### ①受講人数

標準的な講習は、5～10人です。(人数により、他企業と合同で実施する場合や、開催できないこともあります。)

### ②受講料

1人1時間あたり800円に時間数を乗じた額に、オーダー料金800円を加えた額です。(上限12,000円、その他、テキストや材料代等をご用意いただくことがあります。)

### ③講習時間

標準的な講習は、12時間です。開講時間帯(昼間、夜間)や開講日数(2日～6日間)も相談の上、決定します。なお講習内容によっては12時間未満のコース「スキルサポート」の実施も可能です。

### ④実施場所

標準的な講習は、各産業技術専門学校で実施します。内容によっては企業内での実施も可能です。

## 過去の講習例

- ◆新人研修 電気工事の基礎 …… 電気配線図面の知識や電気器具類の基礎知識を習得し、配線実習を行う講習
- ◆女性社員向け機械加工分野の基礎講習 …… 事務職を含む各部署の女性社員向けに、自社の技術に係る基本的な知識を習得する講習
- ◆営業職向け溶接の基礎講習 …… 営業部門の方向けに、溶接の基本的な知識等を習得する講習
- ◆JIS 溶接技能者評価試験準備講習 …… 溶接の種類(半自動溶接、TIG溶接等)や、級(母材、板厚、向き等)に応じた学科・実技の準備講習

●外国人技能実習生などを対象とした外国人向けの各講習も随時受付していますので、お近くの産業技術専門学校にお問い合わせください。

- ① 必ず企業様よりお申込みください。
- ② 受講者が日本語での会話ができない場合は通訳の方の同席をお願いします。
- ③ 企業様の担当者の同席をお願いします。

**注意**

技能講習、技能検定対策の講習は実施できませんのでご了承ください。

## 令和4年度にご利用いただいたオーダー型コースの実施例をご紹介します。

私たちが受講企業様を訪ね、要望などを伺ってきました!

オーダーコース名：ものづくり基礎講座(12時間コース2回)

- ① 測定器の使い方(夜間1日3時間×4回)、
- ② 品質管理及び図面の見方(夜間1日3時間×4回) 合計24時間で実施。

超精密航空宇宙金属部品の量産用治具の設計・製作を主力事業とする藤岡市の高陽精工株式会社を訪問させていただき、事業主様や受講された従業員の皆様にお話を伺いました。



担当講師 石井

講習企画担当 金指



高陽精工株式会社様：本社外観



大澤英樹社長(写真中央)と受講者(社員)の皆様(写真左：近藤さん、写真右：橋本さん)

### Q1 御社の人材育成の状況についてお聞かせください。

・今までOJTで研修を実施していましたが、経験豊富な指導者が定年を迎え、世代交代期に入っており、新たな人材育成方法を模索する時期に来ています。OJTであると、どうしても基礎よりも実践に重きが置かれる傾向があり、何か良い手法がないかと考えていました。(大澤社長)

### Q2 オーダー型コースのご利用に至った経緯を教えてください。

・今だからこそ「基礎」を重視しなければならないと考えています。OJTは実践重視になりがちです。基礎を外部講習で補い、実践を社内で行う「ハイブリッド型」であれば、より効果的な人材育成ができると考えました。オーダー型は、相談に乗っていただけのも大きな魅力です。きっと有意義な講習になると期待し、オーダー型を活用させていただくことにしました。(大澤社長)

### Q3 今回、受講した率直な感想をお聞かせください。

・ものづくりの基礎を学ぶことは人材育成の土台であり、今回の講習は大変有意義でした。初めての利用であり、また急に決めたこともあり、正直、内容についてもう少し打合わせをしておけばよかったかなと思いました。  
・しかし、社内教育のカスタマイズすべき箇所も明確になり、今後、取り組むべき課題も明確になりました。産業技術専門学校の講師の指導技法も大変勉強になりました。(大澤社長)

### Q4 受講者(社員)の率直なご感想(改善提案)をお願いします。

・実際にノギスやマイクロメーターを使ったのでイメージがつかみやすかった。  
・品質管理の講義では、関連資格の試験を受けるなど、受験準備に活用もできそうな内容でした。  
・図面から多くの情報を読み取り形にしていく事の凄さを改めて実感しました。  
・初心者の私としては、基礎を専門機関で受講できる機会は、とても有意義でした。図面の講義では、最初、実物とのイメージがつかみにくかったのですが、講習カリキュラムが社内研修とのハイブリッド(基礎⇄実践)でしたので、より理解が深まりました。会社から近いのも有難いです。(近藤さん、橋本さん)

貴重なご意見、ありがとうございました。